

研究年報 2010 年度版の作成にあたって

当研究所では、将来にわたって電気事業の基盤を支え、エネルギーセキュリティの確保と地球環境問題への対応に向け、「原子力技術」「電力安定供給技術」「環境・エネルギー利用技術」を中心に研究を推進しております。2010 年度においては本研究年報に記載いたしますように、民生部門の経済的な省エネポテンシャル評価、配電設備の地震被害推定システムや CV ケーブル劣化診断技術の現場適用など種々の成果を上げてまいりました。

本研究年報を取りまとめ中の 2011 年 3 月 11 日に東日本大震災が発生しました。地震・津波による直接災害に加え、原子力発電所での重大な事故や基幹電源の被災による大規模な計画停電なども、社会・経済に大きな影響をもたらしました。

当研究所では、震災直後より緊急かつ幅広い外部要請等に全力を尽くして応えてまいりました。また、今後とも、地震・津波対策、原子力、設備運用・保全、電力需給基盤の技術など広範囲な研究資源を有機的かつ機動的に活用し、電気事業を研究開発の側面から支え社会に貢献してまいります。

お知らせ

電力中央研究所から公刊した報告書はウェブサイトにてダウンロードしていただくことができます。下記 URL に接続していただき、本書内の [Q10001] のような形式で示した報告書番号を用いることで容易に検索することができます。

http://criepi.denken.or.jp/jp/kenkikaku/cgi-bin/report_reference.cgi